

## 問いかける技術

今回は『問いかける技術 確かな人間関係と優れた組織をつくる』という本をご紹介します。

私どもはとかく、「自分が話す」という誘惑に駆られます。自分が話し・自分が動く、「上からの目線」での行為に走りがちです。

これまでの語りの会の結論は、我々医療者側は患者の語りに虚心坦懐に耳を傾け、患者に思いの丈を十分に語っていただくことによって、医療行為の中でお互いが如何に絡み合っているのかを考える、ということでありました。

コミュニケーションを上手にするには、話す力から人の話をよく聞く「良い聞き手」になるという積極的傾聴が必要となります。ただ、一回の語りの会によってその人の人生や思いの吐露をしていただく、お話を引き出すということはとても難しいことだと気付かされます。

そのためには、相手に問いかける。殊に相手の気持ちをよく理解し配慮した上での謙虚な問いかけが、多くの言葉よりも人の心を動かし、さらには組織の風通しを良くするとも言われております。

どうぞ、お手に取って読んでみてください。

平成 27 年 2 月 19 日

はまゆう会会長 市丸 喜一郎

参考書：エドガー・H・シャイン

『問いかける技術 確かな人間関係と優れた組織をつくる』

(新王子病院 4 階ロビー 私の本棚)